

山門会（春の彼岸会法要）のご案内

拜啓 初春の候 貴家益々ご清祥の段お慶び申し上げます。
当院、例年通り山門会さんもんえ（春の彼岸会法要）を厳修いたしますので、
万障お繰り合わせの上、ご参詣下さいますようご案内申し上げます。

合掌

平成二十三年 山門会さんもんえ（春の彼岸会法要）

日時 三月二十三日（水）

午後一時三十分より

黄檗宗 靈龜山 九島院



講演『九条〜いまむかし〜』

本年は、
法要終了後

に大阪案内人 西俣稔先生をお招きして『九条』の
魅力、『九条』の変遷など、DVD上映を交えてお話
していただきます。

わが郷土「九条」は、大正・昭和初期には東京を超え
る『大大阪』の中心でした。また「九条新道」は俗に
「西の心斎橋」と称せられ、数々の活動写真館や寄席小
屋、百貨店もありました。

そうした「九条」の今昔を偲び、魅力を語っていただ
きます。

どなた様でも参加可
能です。お誘い合わ
せの上、ご来院お待
ちしています。



※お彼岸にお墓参りをしましょう※

お彼岸とは？

仏教では、い
ろいろな欲望や

苦しみ、悩みの多い現実の世界（この
世）を『此岸（しがらみ）』といい、苦
しみのない理想の世界を『彼岸』と教
えています。

彼岸は、『パーラミター』という古
代インド語を漢訳した『到彼岸』を略
したものです。この『到彼岸』は理想
の向こう岸へ渡るという意味です。こ
の期間は、つとめて信心をおこし、あ
こがれの世界へ行くための修行をしま
しょうというのです。その基本、原点
が『六波羅蜜』と言う六つの
実践方法です。『六波羅蜜』
とは布施、持戒、忍辱、精進、
禅定、智慧の実践徳目です。



◎彼岸会法要有志袋を同封いたしましたので、
ひがね回向法名用紙にご先祖・先亡諸精霊名を
ご記入の上、回向料を入れて、お送り下さい。

九島院第二十五世住職 奥田啓知（智證）

副住職 奥田穂積（明勝）

